

令和6年度第2回 工賃向上研修会

事例説明②

ワークスたんぽぽ成沢事業所

特定非営利活動法人ワークスたんぽぽを支える会

理事長 木村 統 様

1 事業所紹介

	内容等
事業所名・所在地	ワークスたんぽぽ成沢事業所 日立市西成沢町 1 - 6 - 2
設置者名	特定非営利活動法人ワークスたんぽぽを支える会 理事長 木村 統
R6.4.1時点 定員数、利用者数	定員 54名 利用者 49名
これまでの工賃実績	R3 : 15,650円 R4 : 16,282円 R5 : 26,343円 (参考) R5 (旧計算) : 19,957円
主な作業内容	①自主製品の製造・販売 ②部品・製品組み立て (下請け作業) ③お弁当の製造・販売

2 作業内容①（自主製品の製造・販売）

作業を始めたきっかけ、理由など

- ・以前は「就労を目指す」「工賃を上げる」ということはあまり重要とされていなかった。



自主製品製造の技術を向上させることで
売上増加、工賃向上につながる事が利用者
に分かりやすいと感じて、取組み始めた。



作業に取り組む際の課題・対応

【課題】

自分たちが努力して製作した商品が
売れることを実感できないと利用者の
意欲につながらないと感じた。



【対応】

商品の出来栄が見た目でわかりやすく、
利用者も取り組みやすい陶芸品やビーズ
アクセサリー、縫製品等を選んだ。



2 作業内容①（自主製品製造・販売）

作業に当たって工夫している点

- 1) 元々の作業工程を分割する事で、誰もが取り組める単純な作業を切り出した。



利用者が作業を繰り返すことで、丁寧に作業が学べるようにした。

- 2) 利用者へ言葉で伝えるだけでなく、支援員が利用者に対して、実際にやって見せる事で、コツややり方を伝えた。
- 3) ・工程を大きな図にする。
・図通りに並べるように指示する。
上記のように、利用者一人一人の理解力に合わせた伝え方と道具の工夫を行った。
- 4) 利用者のこだわりや障害の特性を生かせるような作業を選んだ。



2 作業内容②（部品・製品組み立て）

作業を始めたきっかけ、理由など

- ・利用者の人数が増える事によって、確実に収入になる仕事が必要になり、下請け作業を探すようになった。
- ・設立から数年後には、就職する方も出始め、就労先からの内職仕事や隣の事業所からの仕事などが入るようになり、下請け作業が増えていった。

作業に取り組む際の課題・対応

【課題】 作業単価が安くなりやすい

【対応】

- ①職員が作業を行い、利用者の皆さんでこなせる作業に細分化できるかを確認する。
- ②何人が関われるか、納期の期限に余裕が持てるか、を確認する。
- ③利用者が1時間で出来る量を計算し、作業単価を割り出す。



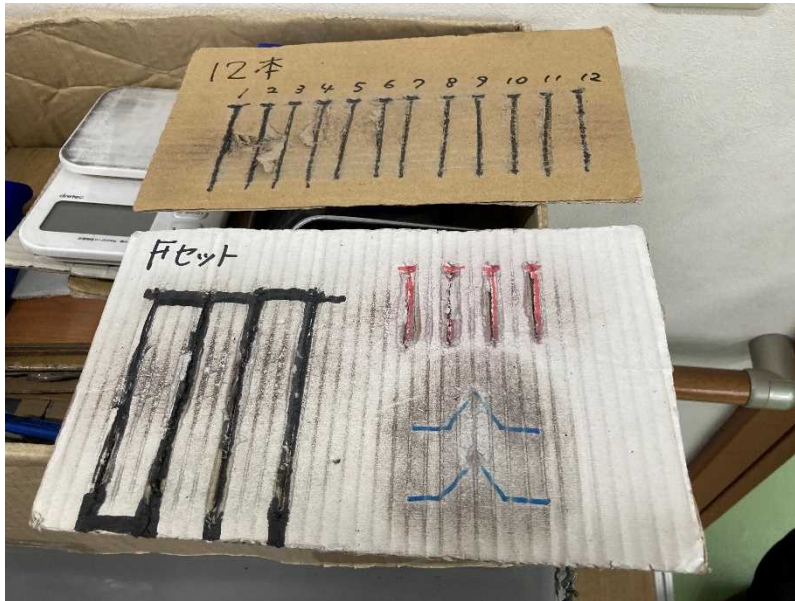
2 作業内容②（部品・製品組み立て）

作業に当たって工夫している点

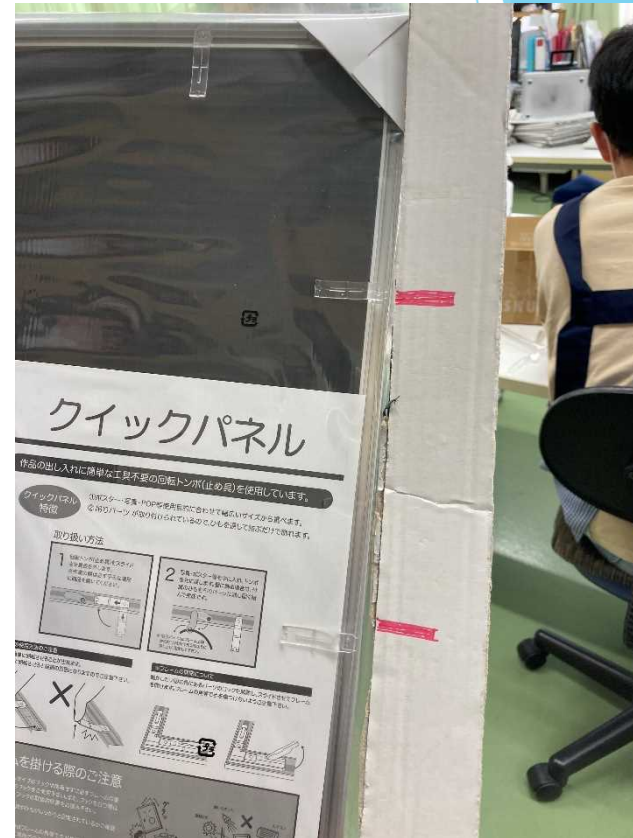
- 1) 箱や道具を工夫 → 作業を細分化、分担
 - ・ どんな方でも一目で理解しやすい。
 - ・ 誰もが作業に関わる事が出来る。
- 2) 職員が一か所でチェック → 検品の徹底
 - ・ 職員へ直接、成果品等を持って行く。
 - ・ 工程ごとに職員が確認をする。
- 3) 身近なもので道具を製作
→ 経費削減
→ 作業の工夫の可視化
- 4) 間違いはその場で伝え、やり方は利用者の前で実際にやって見せて伝える。
→ 間違いを自覚できる。
→ 正しい作業を見て覚える。



2 作業内容②（部品・製品組み立て）



イラストの上に、部品を置いていく。



赤い印に合わせて、パネルを置く。

2 作業内容③（お弁当の製造・販売）

作業を始めたきっかけ、理由など

- ・利用者が40名を超え、新たな作業を作り出す事が必要になった。
- ・毎日の販路とある程度の受注数が見込める作業として、お弁当の製造販売を始めた。

作業に取り組む際の課題・対応

①利用者の作業意欲向上



利用者が取り組みやすい単純な作業に細分化

②衛生面への注意



掃除、洗濯、洗い物などの生活上の様々な作業をB型の作業に結び付け

③弁当準備作業終了後の作業内容



厨房を使った下請けの作業を午後に実施



2 作業内容③（お弁当の製造・販売）

作業に当たって工夫している点

- 1) 利用者の作業に対する責任感向上
 - ・配膳台の担当を決定し、自分が担当する作業内容やお弁当箱の数量を利用者に意識してもらい、責任を持って仕上げまで行う。
- 2) 利用者の正確な作業を支援
 - ・利用者が「同じ位置か？同じ量か？」隣のお弁当箱と自分で考えて見比べることが出来るよう、近くに移動させた。
 - ・掃除の範囲は作業場を3分割し、ごみを集める所をマーキングしている。
1ヶ所ずつ確実にきれいにするよう利用者へ指導する。
 - ・洗濯は当番制にし、干して乾いたら各自のハンガーにかけられるよう印をつけ、利用者が分かりやすくする。



3 事業所の課題と改善方法

事業所の課題

1) 自主製品

- ・新型コロナウイルス流行によりイベントが減った。

➡ 売上を上げるのが難しくなった。

2) 下請け作業

- ・利用者の人数が増えた。

➡ 苦手な人とのトラブルが増える。

- ・利用期間が長くなり、作業に慣れた。

➡ 作業が雑になった。効率が悪くなったり、ケアレスミスが増えた。

3) お弁当製造販売

- ・材料費の高騰により値上げを実施した。

➡ 販路や販売数が思うように伸びなくなった。

3 事業所の課題と改善方法

課題に対する改善方法

1) 自主製品

- ・ 常設販売所の開拓と定期的なデザインの変更を実施した。
- ・ 利用者の特技を生かした新製品開発をおこなった。

2) 下請け作業

- ・ 毎日の作業は、午前と午後で変えるようにした。
- ・ 利用者がやりたい作業など相談して決めるようにした。
- ・ 休憩も細目取るように心がけた。

3) お弁当の製造販売

- ・ 幼稚園の保育料無償化に合わせ、近隣の2か所の幼稚園に弁当販売について交渉した。
- ・ 交渉の結果、幼稚園用弁当の受注が出来るようになった。

4 取組みの効果

取組み内容・効果

1) 自主製品製造販売での工夫

- ・ 常設販売所の新規開拓、イベントでの新規販売
- ➡ 売上増加につながった。
- ・ 新製品を定期的に開発
- ➡ お客さんに飽きられなくなってきた。

2) 利用者に対する姿勢

- ・ 利用者と職員で作業内容等を相談する機会を増やす。
- ➡ 利用者が目標が持てると同時に、相手の事情も理解するようになった。

3) 幼稚園児向けに配慮したメニューの開発

- ・ 幼稚園児への食育も兼ねて、野菜を使うようにした。
- ➡ 最初は残菜が多かったが、慣れてくると残菜も減り、親からは感謝されるようになった。

4 取組みの効果

利用者の変化

- ・ 利用者が安定して作業に取り組む事が増えた。
- ・ 自分の事に集中できるようになって来ている。
- ・ 販売を手伝う利用者が増えて来た。
- ・ 地域の方や幼稚園の保護者から、販売や配達で感謝される事により、利用者が自信が持てるようになった。

工賃の変化

- ・ 旧計算式での平均月額を比較した際に、
昨年より3,000円平均工賃を上げることが出来た。

5 今後の取組み

事業所・法人等の意向など

- 1) これまで以上の「工賃向上」
新たな事業を検討する必要がある。
- 2) 利用者の高齢化への対応
利用者の年齢が上がり、集中力が低下傾向にある。
利用者の精神安定を図るに、関わり方の工夫が重要になる。
- 3) 利用者の自立に向けた支援
利用者の生活に対する意欲向上を目指し、
生活に密着した作業等を、職員が丁寧に指導してゆく必要がある。

5 今後の取組み

具体的な取組み

1) 畑等の農作業への取組み

- ・ 栽培の手順や準備など、利用者が計画を立てて、自ら考えて作業に取り組む事を支援して行く。

2) 販路拡大

- ・ 野菜やお弁当の販路を近隣の団地に広げる。
- ・ 定期的にセールとチラシ配布に加え、契約栽培などの販路確保も検討して行く。

3) 施設外就労などの検討

- ・ 行政と連携した清掃の施設外就労なども検討する。

6 参加者へのメッセージ

- ・ これまでは、各々の特徴を生かした稼げる作業所、就職につながる作業所を目指してきた。



- ・ 利用者の平均年齢も上がり、生活の安定が各自の目標になっている現状もある。
- ・ 利用者の可能性を信じ、就労に向けてステップアップできるスキルを身に着ける事も大切である。
- ・ しかし、効率だけを求められ、人との関わりが嫌になってしまっっては、人生に意欲を持って取り組むという、その先の課題を解決できないのでは？と思うようになってきた。

6 参加者へのメッセージ

- ・利用者が精神の安定を保ち、他人の事情に目を向けられる術を身に着ける事は、地域の中で生活して行く為には大切な事である。
- ・それを学ぶには、目標をわかるように提示し、やって見せて、コツを伝え、認められるという信頼関係によりやる気を後押しするような指導が重要になって来るのだと思う。



- ・今後の活動に関して、これらをより一層大切にしながら、新たな事業の開発に努力すると同時に、行政や近隣の交流センター、事業所との協力関係にも目を向けて、仕事を確保して行きたい。